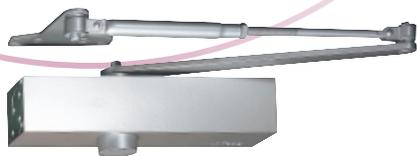


株主のみなさまへ

第94期 報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで



RYOBI
リョービ株式会社

日々のくらしのさまざまなシーンで
リョービはあなたと接しています。

リョービを支える3つの事業

ダイカスト事業

世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウ、日本、米国、欧州での生産体制などを活かし、自動車メーカーなどとの関係強化・拡充をはかっています。当事業の世界戦略体制を一層強化するため中国・大連へも生産拠点を建設しています。軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れたアルミニウムダイカストは、省エネルギー、省資源など環境保全にも有効な技術として、自動車はもとより、電機・通信など自動車以外の分野からもますます注目されています。



印刷機器事業

精度の高い多色化と機能の高度化を追求し、世界市場での評価を一層強固にするため、新商品の開発、生産力・販売力の強化などを進めています。また、IT化、デジタル化に対応した商品や環境に配慮した商品を開発するなど、マーケットニーズに合った商品の拡充に取り組んでいます。

中型印刷機の需要増に対応するため広島東工場の生産能力を増強し、さらに拡販を進めます。



住建機器事業

この事業はパワーツール(電動工具、園芸用機器等)と建築用品(ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)で構成しています。

パワーツール

小型、軽量、コンパクトをコンセプトにした商品開発体制、日本と中国・大連での生産体制などを活かし、プロ用からDIYまでニーズに応えた商品を提供しています。商品企画力・販売力の強化、生産性向上などの取り組みを一層推進することにより、競争力の強化をはかっています。



■ 建築用品

主力のドアクローザなどは主として中国・大連の子会社や台湾の関連会社で生産しています。特長のある商品の開発、生産性向上によるコストダウンの推進、価格競争力の強化などにより、収益性の向上をはかっています。



ごあいさつ

決算の要点解説

事業の概況

事業の概況・トピックス

連結財務諸表

単独財務諸表

株式の風評会社の概要・役員

ごあいさつ



代表取締役会長

浦上 浩

代表取締役社長

吉川 進

技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第94期 平成17年4月から平成18年3月まで 報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社グループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念としております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることを目指しております。ダイカストと完成商品をあわせもつ企業として成長・発展し続けるために、それぞれの事業分野で一層存在感がある企業になるために競争力の強化、収益力の向上に努めております。

また、CSR（企業の社会的責任）への関心が高まる中で、当社グループは企業理念の実践そのものがCSRの推進であると認識しております。企業情報の適時開示、コンプライアンス、リスク管理など、いろいろな面でコーポレート・ガバナンスの徹底をはかってまいります。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた安定した配当を継続することを基本にしております。当期の配当金につきましては先の定時株主総会でご承認いただきましたが、1株当たりの期末配当金を2円50銭増配して年間10円といたします。支払開始日は6月30日といたします。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

平成18年6月

売上高は2期連続の増収

営業利益・経常利益ともに4期連続の増益で、過去最高

当期純利益は2期ぶりの増益

売上高・営業利益・経常利益は次期も増収・増益の見込み

売上高・利益の状況

当期のわが国経済は、企業収益の向上による設備投資の増加や雇用環境の改善などから、緩やかながらも回復基調で推移しました。しかし、原材料価格の高騰や高止まり、米国自動車メーカーの業績不振などもあり、先行きが懸念されます。

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など、諸施策を実行しました。

その結果、当期は次頁の「業績推移」に記載のとおり連結、単独とも増収、増益となりました。

売上高はダイカスト事業、印刷機器事業が伸ばし、連結は2期連続の増収、単独は4期連続の増収となりました。

売上高の増加、原価低減の取り組みなどにより、営業利益、経常利益は連結、単独とも4期連続の増益で、過去最高額でした。当期純利益については、連結、単独とも2期ぶりの増益となりました。

資産・負債等の状況

当期の連結総資産は、流動資産では売上債権やたな卸資産の増加、固定資産では有形固定資産の増加や株価上昇による投資有価証券の評価増などにより、次頁の「業績推移」に記載のとおり前期末に比べ増加しました。受取手形割引高を除いた連結の有利子負債残高は前期末に比べ46億円減少し、398億円となりました。

連結の株主資本は当期純利益による増加やその他有価証券評価差額金の増加などにより増え、株主資本比率は37.5%となりました。

当期の連結の設備投資は、鑄造機械設備の増強、加

工設備の新設・増強、印刷機の工場建物の新設等により、110億円でした。



次期の見通し

世界的な石油価格の高騰や原材料価格の値上がり・高止まり、米国経済の動向、為替の変動など、いろいろな懸念材料があります。

当社グループとしましては、商品開発力、販売力、製造力を高めるとともに、さらなるコストダウンや生産性向上の取り組みを一層徹底して、競争力の強化、収益力の向上をはかります。

現時点における次期の業績見通しは次のとおりです。連結、単独ともに前期比増収、営業利益・経常利益は増益を見込んでいます。ダイカスト事業、印刷機器事業が堅

調で引き続き売上を伸ばし、増収となる見通しです。利益については売上高の増加などにより増益となる見通しですが、連結の当期純利益は税計算の影響により減益となる見通しです。なお、設備投資は185億円を計画しています。

(単位：百万円)

	連結(前期比)	単独(前期比)
売上高	192,000 (12.1%増)	145,000 (14.7%増)
営業利益	13,700 (3.7%増)	10,900 (7.2%増)
経常利益	13,700 (2.2%増)	11,500 (3.7%増)
当期純利益	8,100 (6.2%減)	7,000 (3.7%増)

連結の業績推移

()内は平成・月

科目	第90期(13.4~14.3)	第91期(14.4~15.3)	第92期(15.4~16.3)	第93期(16.4~17.3)	第94期(17.4~18.3)
売上高(百万円)	156,139	156,457	155,250	157,964	171,232
営業利益(百万円)	6,364	8,452	10,347	10,834	13,214
経常利益(百万円)	4,999	8,045	9,998	11,301	13,407
当期純利益(百万円)	2,080	4,470	12,812	6,581	8,635
1株当たり当期純利益(円)	12.19	26.26	76.40	39.33	51.31
総資産(百万円)	165,401	165,487	160,574	157,420	177,864
株主資本(百万円)	33,379	38,365	50,040	55,293	66,756
1株当たり株主資本(円)	195.55	227.84	299.05	330.62	398.35

単独の業績推移

科目	第90期(13.4~14.3)	第91期(14.4~15.3)	第92期(15.4~16.3)	第93期(16.4~17.3)	第94期(17.4~18.3)
売上高(百万円)	101,595	106,211	106,418	112,387	126,390
営業利益(百万円)	4,790	5,574	5,881	6,943	10,166
経常利益(百万円)	4,740	5,732	6,415	7,908	11,092
当期純利益(百万円)	2,834	3,797	9,110	4,505	6,751
1株当たり当期純利益(円)	16.55	22.26	54.23	26.87	40.02
総資産(百万円)	123,660	124,158	124,449	121,828	137,088
株主資本(百万円)	33,705	38,141	46,375	49,363	58,190
1株当たり株主資本(円)	196.85	226.10	276.56	295.10	346.83

第92期の当期純利益は、保有有価証券の一部売却による特別利益も加わり大幅な増益となりました。

事業の概況

ごあいさつ

決算の要点解説

事業の概況

事業の概況トピックス

連結財務諸表

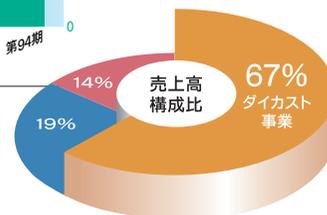
単独財務諸表

株式の概要会社の概要役員

ダイカスト事業

売上高は1,143億19百万円(前期比8.4%増)、営業利益は71億61百万円(同26.3%増)、売上高営業利益率は6.3%(前期は5.4%)となりました。

国内自動車メーカー向けが堅調でした。アルミ材料価格の急騰をはじめとした原材料高による利益圧迫はあるものの、売上高の増加、コストダウンや生産性向上などの取り組みにより、増益となりました。



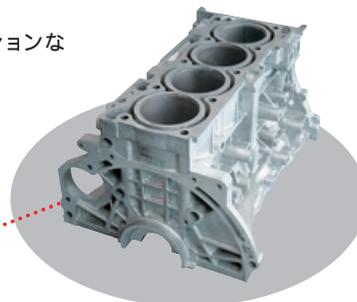
軽さとリサイクル性で、省エネルギー・省資源に貢献するダイカスト

当社は、金型の設計・製作から鋳造、加工、組立に至るまで一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。

ダイカスト製品は、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れ、省エネルギー、省資源の環境面からも注目されています。

特に、軽量化により低燃費を目指す自動車においては、エンジン、トランスミッションなど数多くの部品に当社のダイカスト製品が採用されています。

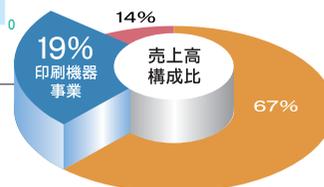
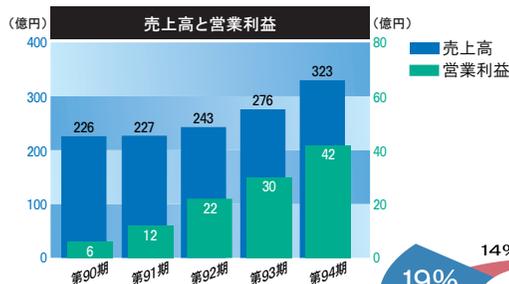
三菱自動車工業株式会社様の新型車「アウトランダー」のエンジン部品にも当社の製品が使われています。



シリンダーブロック
(三菱自動車工業株式会社様の「アウトランダー」へ搭載)

印刷機器事業

売上高は323億6百万円(前期比16.7%増)、営業利益は42億85百万円(同40.5%増)、売上高営業利益率は13.3%(前期は11.0%)となりました。中型印刷機(B2・A2・B3サイズ)、小型印刷機(A3サイズ)、デジタル印刷機の輸出が好調でした。売上高が増加したこと、コストダウンを一層進めたことなどから増益となりました。



印刷面積を拡大、自動化・省力化機能を更に充実 RYOBI 750シリーズをグレードアップ

発売以来、世界中で品質・性能を高く評価されているB2サイズ対応の印刷機RYOBI 750シリーズ。よりワイドになった印刷面積、より充実した自動化・省力化システムを装備して、進化させました。多品種・小ロット化が進む印刷市場で、印刷会社様のビジネスを拡大する頼もしいパートナーとして活躍が期待されます。



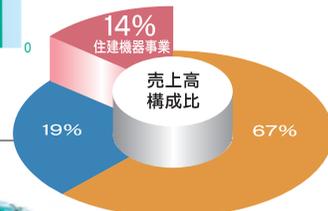
(タイプ5・D:5色機、コーティングユニット、IR乾燥装置付き)



- ごあいさつ
- 決算の要点解説
- 事業の概況
- 事業の概況トピックス
- 連結財務諸表
- 単独財務諸表
- 株式の風評会社の概要・役員

住建機器事業

売上高は246億5百万円(前期比0.7%減)、営業利益は17億66百万円(同16.4%減)、売上高営業利益率は7.2%(前期は8.5%)となりました。建築用品は増加しましたが、パワーツールの輸出が減少し、全体では減収となりました。利益については売上高が伸びなかったことに加えて、生産コストが増加したため減益となりました。



より速く、より安全な、充電式インパクトドライバ「**BID-140**」

14.4Vのリチウムイオン電池を採用したプロ向け充電式インパクトドライバ「**BID-140**」を発売しました。強い締付力で作業がスピーディーに行え、ネジの種類や材料などに応じて、締付力を2段階で調節できます。さらに、暗い場所での作業効率を高める2色光3灯式LEDライトを搭載しています。



網戸付ドアに取り付けができるドアクローザ

網戸付ドアへの取り付けを可能にしたドアクローザを発売しました。近年、勝手口ドアの内側に網戸を併設した採風ドアが増えています。ドアと網戸の隙間は小さく、従来のドアクローザでは取り付けができませんでしたが、「網戸付ドア対応ドアクローザ」は部品の小型化により小さな隙間への取り付けを可能にしました。さわやかな採風による快適な「暮らしごっこ」に貢献します。



社会福祉施設へ物品などを寄贈

NPO法人リョービ社会貢献基金では、社会貢献活動の一環として当社グループの事業所近隣の社会福祉施設などに物品の寄贈や活動資金の援助を行っています。

平成17年度は、軽自動車1台、車椅子26台などを寄贈しました。また、6つのボランティアグループなどへ活動資金を援助しました。



ダイカスト展示会「EUROGUSS 2006」へ出展

平成18年3月7日～9日の3日間、ドイツのニュールンベルグにて開催されたダイカスト展示会「EUROGUSS 2006」に、RYOBI ALUMINIUM CASTING(UK) LIMITED が初めて出展しました。

エンジンブロックをはじめ、サブフレームなどの自動車部品を展示し、最先端の技術を紹介しました。

欧州をはじめ、各国からお客様が来場され、今後の販売に大いに期待の持てる展示会となりました。



印刷機の新工場棟が完成

中型オフセット印刷機の生産能力の増強をはかるため、平成17年9月から広島東工場敷地内に建設を進めていた新工場棟が平成18年4月に完成しました。既に印刷機の組立を開始しており、10月から本格的に稼働する予定です。



新工場棟（手前）

連結財務諸表

■ 貸借対照表 (平成18年3月31日現在)

(単位:百万円)

【資産の部】

科目	当期	前期
● 流動資産	96,891	87,746
現金及び預金	17,894	17,435
受取手形及び売掛金	42,691	38,271
有価証券	604	604
たな卸資産	31,919	27,527
繰延税金資産	1,386	2,129
その他	2,461	1,880
貸倒引当金	△ 64	△ 100
● 固定資産	80,973	69,673
有形固定資産	60,306	54,836
建物及び構築物	16,992	16,055
機械装置及び運搬具	18,809	15,435
土地	19,576	19,556
建設仮勘定	2,435	961
その他	2,492	2,827
無形固定資産	1,827	1,638
投資その他の資産	18,839	13,198
投資有価証券	15,264	9,767
繰延税金資産	1,312	1,120
その他	2,348	2,494
貸倒引当金	△ 85	△ 184
資産合計	177,864	157,420

【負債の部】

科目	当期	前期
● 流動負債	83,588	76,379
支払手形及び買掛金	35,818	30,640
短期借入金	26,425	28,872
コマーシャルペーパー	—	1,967
未払法人税等	3,373	489
賞与引当金	2,202	1,967
その他	15,768	12,441
● 固定負債	26,579	24,821
長期借入金	13,397	13,663
繰延税金負債	3,265	1,233
再評価に係る繰延税金負債	674	674
退職給付引当金	6,906	6,879
持分法適用に伴う負債	417	423
その他	1,917	1,947
負債合計	110,167	101,201
【少数株主持分】	940	924
● 少数株主持分	940	924
【資本の部】		
● 資本金	18,472	18,472
● 資本剰余金	23,680	23,588
● 利益剰余金	25,885	18,503
● 土地再評価差額金	626	626
● 株式等評価差額金	6,228	3,028
● 為替換算調整勘定	△ 7,370	△ 8,094
● 自己株式	△ 766	△ 830
資本合計	66,756	55,293
負債、少数株主持分及び資本合計	177,864	157,420



■ 損益計算書 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで) (単位：百万円)

科目		当期	前期
経常損益の部	●売上高	171,232	157,964
	●売上原価	135,088	125,157
	●販売費及び一般管理費	22,929	21,973
	営業利益	13,214	10,834
	●営業外収益	1,631	1,672
	●営業外費用	1,438	1,204
特別損益の部	支払利息等	679	720
	その他の営業外費用	758	484
	経常利益	13,407	11,301
	●特別利益	70	135
特別損益の部	固定資産処分益	16	33
	その他の特別利益	53	101
	●特別損失	420	794
	固定資産処分損	411	517
	投資有価証券評価損	1	135
	その他の特別損失	8	141
	税金等調整前当期純利益	13,057	10,642
	●法人税等	4,206	3,901
	●少数株主損益	214	160
	当期純利益	8,635	6,581

■ キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,165	14,187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,968	△ 6,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,483	△ 10,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	80	30
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	794	△ 2,291
現金及び現金同等物期首残高	15,303	17,594
現金及び現金同等物期末残高	16,097	15,303

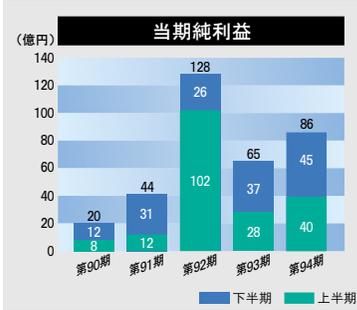
■ 剰余金計算書 (単位：百万円)

【資本剰余金の部】

科目	当期	前期
●資本剰余金期首残高	23,588	23,524
●資本剰余金増加高	92	63
自己株式処分差益	92	63
資本剰余金期末残高	23,680	23,588

【利益剰余金の部】

科目	当期	前期
●利益剰余金期首残高	18,503	13,176
●利益剰余金増加高	8,635	6,581
当期純利益	8,635	6,581
●利益剰余金減少高	1,254	1,254
配当金	1,254	1,254
利益剰余金期末残高	25,885	18,503



単独財務諸表

■ 貸借対照表 (平成18年3月31日現在)

(単位: 百万円)

【資産の部】

科目	当期	前期
● 流動資産	78,375	71,541
現金及び預金	10,577	10,323
受取手形	4,159	3,821
売掛金	35,546	31,403
有価証券	604	604
製品	9,265	8,620
原材料	2,610	1,951
仕掛品	9,949	8,346
貯蔵品	780	767
繰延税金資産	920	2,386
未収入金	3,058	2,707
その他の流動資産	906	623
貸倒引当金	△ 4	△ 15
● 固定資産	58,713	50,286
有形固定資産	31,829	29,627
建物	7,079	7,243
構築物	384	430
機械及び装置	6,533	5,061
車両運搬具	41	55
工具器具備品	1,082	1,025
土地	15,785	15,785
建設仮勘定	922	24
無形固定資産	340	257
投資その他の資産	26,543	20,402
投資有価証券	14,102	8,905
子会社株式	6,756	6,509
子会社出資金	3,980	3,120
繰延税金資産	—	48
その他の投資等	1,733	1,848
貸倒引当金	△ 28	△ 29
資産合計	137,088	121,828

【負債の部】

科目	当期	前期
● 流動負債	61,457	56,102
支払手形	6,394	4,941
買掛金	22,907	18,891
短期借入金	14,320	13,100
1年内返済長期借入金	5,581	9,763
未払金	4,695	3,694
未払費用	723	720
未払法人税等	2,850	196
賞与引当金	1,451	1,290
従業員預り金	1,551	1,509
割賦販売繰延金	442	1,406
その他の流動負債	539	588
● 固定負債	17,439	16,362
長期借入金	11,078	11,859
繰延税金負債	1,909	—
退職給付引当金	4,350	4,402
その他の固定負債	101	101
負債合計	78,897	72,465

【資本の部】

● 資本金	18,472	18,472
● 資本剰余金	23,654	23,517
資本準備金	11,617	11,617
その他資本剰余金	12,036	11,900
資本準備金減少差益	11,900	11,900
自己株式処分差益	136	0
● 利益剰余金	10,761	5,264
当期末処分利益	10,761	5,264
● その他有価証券評価差額金	6,028	2,936
● 自己株式	△ 724	△ 826
資本合計	58,190	49,363
負債・資本合計	137,088	121,828

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額
2. 受取手形割引高
3. 保証債務

41,985百万円
810百万円
9,499百万円

41,663百万円
667百万円
9,139百万円

4. 時価評価により増加した純資産額
5. 自己株式保有数

6,028百万円
3,450,052株

2,936百万円
3,956,222株

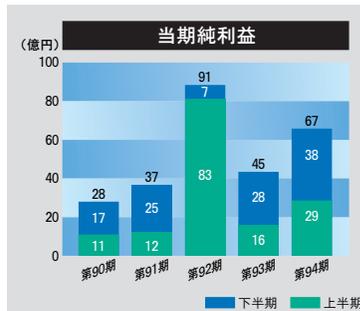
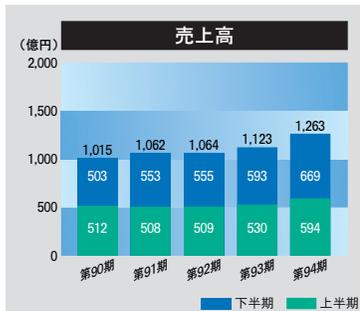


■ 損益計算書 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで) (単位：百万円)

科目		当期	前期
経常損益の部	●売上高	126,390	112,387
	●売上原価	102,792	91,700
	●割賦販売損益繰延金	△ 963	202
	●販売費及び一般管理費	14,394	13,541
	営業利益	10,166	6,943
	●営業外収益	1,784	1,856
	●営業外費用	859	890
	支払利息	416	508
	その他の営業外費用	442	381
	経常利益	11,092	7,908
特別損益の部	●特別利益	13	70
	固定資産処分益	4	30
	その他の特別利益	8	40
	●特別損失	175	473
	固定資産処分損	175	226
	投資有価証券評価損 その他の特別損失	— —	115 132
税引前当期純利益	10,929	7,506	
●法人税等	4,178	3,001	
当期純利益	6,751	4,505	
●前期繰越利益	4,009	759	
当期末処分利益	10,761	5,264	

■ 利益処分 (単位：百万円)

摘要	当期	前期
当期末処分利益の処分		
●当期末処分利益	10,761	5,264
これを下記のとおり処分いたします。		
●利益配当金	1,677	1,254
(1株につき10円00銭)		(1株につき7円50銭)
●取締役賞与金	43	—
●特別償却準備金	35	—
●次期繰越利益	9,005	4,009
その他資本剰余金の処分		
●その他資本剰余金	12,036	11,900
これを下記のとおり処分いたします。		
●その他資本剰余金次期繰越額	12,036	11,900





- ごあいさつ
- 決算の要点解説
- 事業の概況
- 事業の概況・トピックス
- 連結財務諸表
- 単独財務諸表
- 株式の概要・会社の概要・役員

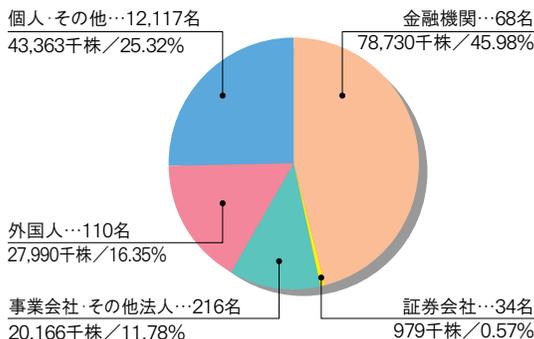
- 会社が発行する株式総数……………500,000千株
- 発行済株式総数……………171,230千株
- 自己株式保有数……………3,450千株
- 株主数……………12,545名
- 株式の上場……………東京証券取引所

■ 大株主

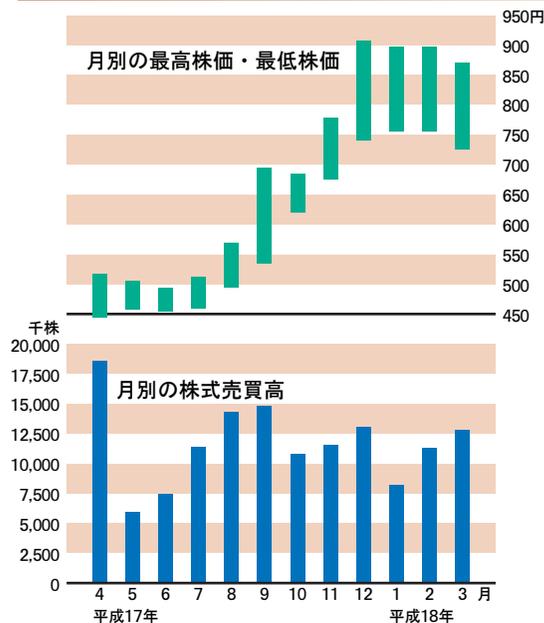
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社信託口	14,033	8.20
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.43
第一生命保険相互会社	8,067	4.71
日本生命保険相互会社	7,823	4.57
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,523	3.81
日本スタートラスト 信託銀行株式会社信託口	5,756	3.36
財団法人浦上奨学会	5,150	3.01
菱工会持株会	5,046	2.95
住友信託銀行株式会社	3,503	2.05
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,324	1.94

(注) 当社は、自己株式3,450千株を保有しております。

■ 株式分布状況 (所有者別) 合計 12,545名 / 171,230千株



■ 株価及び株式売買高の推移



(平成18年6月29日現在)

会社の概要

- 社名……リョービ株式会社
- 英文社名……RYOBI LIMITED
- 設立年月日……昭和18年12月16日
- 資本金……184億7,219万円
- 社員数……2,021名(平成18年5月31日現在)

■主要商品

ダイカスト製品

印刷機器(オフセット印刷機、編集ソフト等)

パワーツール(電動工具、園芸用機器等)

建築用品(ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)

■本社・支社・支店・営業所・工場

本社…〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地 ☎(0847) 41-1111

東京支社…〒114-8518 東京都北区豊島5丁目2番8号 ☎(03) 3927-5541

虎ノ門オフィス…〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目7番1号
虎ノ門セントラルビル ☎(03) 3927-5541

大阪支店…〒569-1135 大阪府高槻市今城町24番12号 ☎(072) 685-1122

営業所…札幌・仙台・浜松・名古屋・富山・広島・福岡

広島工場…〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地 ☎(0847) 41-1111

広島東工場…〒726-0002 広島県府中市鶴岡町800番地の2 ☎(0847) 40-1600

静岡工場…〒421-3292 静岡県静岡市清水区蒲原5215番地の1
☎(0543) 85-3101

印刷機器工場…〒726-0023 広島県府中市栗柄町444番地の1 ☎(0847) 45-5871

主なグループ会社

●ダイカスト事業

リョービミラサカ株式会社

リョービミツギ株式会社

株式会社東京軽合金製作所

生野株式会社

RYOBI DIE CASTING(USA),INC.

RYOBI ALUMINIUM CASTING
(UK),LIMITED

利優比压铸(大連)有限公司

●印刷機器事業

リョービイマジクス株式会社

●住建機器事業

リョービ販売株式会社

リョービパワーツール株式会社

利優比(大連)机器有限公司

良友精工股份有限公司

役員

■取締役

代表取締役	浦上 浩
代表取締役	吉川 進
取締役	田中 孝雄
取締役	横山 隆志
取締役	加村 幹夫
取締役	室家 士郎
取締役	石井 浩司
取締役	浦上 彰
取締役	鈴木 健二郎
取締役(社外)	大岡 哲

■監査役

常勤監査役	小林 照三
監査役	高橋 宏明
監査役(社外)	豊田 國弘
監査役(社外)	加藤 大朗

■執行役員

会長	浦上 浩
社長	吉川 進
常務執行役員	田中 孝雄
常務執行役員	横山 隆志
常務執行役員	加村 幹夫
常務執行役員	室家 士郎
執行役員	石井 浩司
執行役員	浦上 彰
執行役員	鈴木 健二郎
執行役員	伊東 邦侑
執行役員	本川 直道
執行役員	檀上 和秋
執行役員	大澤 章治
執行役員	堂本 秀樹



「くらしごこち」がテーマです。

■ 株式事務についてのご案内

- 決 算 期 3月31日
- 配 当 期 期末配当金支払株主確定関係／3月31日
中間配当金支払株主確定関係／9月30日
- 定時株主総会 6月中
- 基 準 日 3月31日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告)
いたします。
- 公 告 の 方 法 電子公告「<http://www.ryobi-group.co.jp/>」
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先
及び電話照会先 〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-707-696 (フリーダイヤル)
- 同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

リョービホームページでは、IRや商品等の最新情報に加えて、事業内容等を映像(動画)で紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.ryobi-group.co.jp/>



r100
古紙配合率100%再生紙を使用



※本事業報告書の印刷用紙は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。印刷インクには「大豆インキ」を使用することにより、石油系溶剤の使用量を減らし、VOC(揮発性有機化合物)が少なく、鉛・水銀・カドミウムなど重金属類は使用していません。